

戸籍制度の実務運営に深く関わった視点を交えて  
親族法・相続法の役割をやさしく解説した入門書



# 親族法・ 相続法講義

【第七版】

山川一陽 著

2021年2月刊 A5判 452頁 定価4,510円(本体4,100円)  
ISBN978-4-8178-4706-5 商品番号:40115 略号:親相

- 近時の民法大改正ほか、主な判例等に対応した7年ぶりの改訂版。
- 日常生活になじみの深い親族法・相続法について、現実の紛争に関してどのような機能を果たしているのかを、客観的に明らかにすべく解説を試みた一冊。
- 親族法・相続法に密接な関係をもつ戸籍法にも踏み込み、多くの判例・先例を引用。
- 戸籍記載例、各種届書、家事事件に関する申立書、遺言書の見本等も掲載。

## 【収録内容】

### 第1部 家族法の基礎知識

- 第1章 家族法の構造と特質
  - 第1 民法としての家族法
  - 第2 家族法の基本原則
  - 第3 家族法の特徴
  - 第4 家族法と民法総則
- 第2章 家族関係とその公示
  - 第1 戸籍制度とその機能
  - 第2 戸籍と住民基本台帳
- 第3章 家事事件とその処遇

### 第2部 親族法

- 第1章 親族とその機能
- 第2章 婚姻
  - 第1 序説
  - 第2 婚姻の成立
  - 第3 婚姻の無効と取消し
  - 第4 婚姻の効力
- 第3章 婚姻の解消
  - 第1 その意義
  - 第2 死亡と失踪
  - 第3 婚姻解消原因としての離婚
- 第4章 親子
  - 第1 序説

- 第2 実子
- 第3 養子縁組
- 第4 縁組の解消・離縁
- 第5 特別養子制度
- 第5章 親権・後見・保佐・補助について
  - 第1 親権
  - 第2 後見と保佐・補助
  - 第3 任意後見制度
  - 第4 後見登記など
- 第6章 扶養について
  - 第1 扶養の権利・義務

### 第3部 相続法

- 第1章 相続の歴史とその意義
  - 第1 相続の意義
  - 第2 日本における相続法
  - 第3 相続法の改正の歴史
  - 第4 相続法とその基本的概念
  - 第5 相続の根拠
- 第2章 相続の開始
- 第3章 相続人と相続分
  - 第1 総論
  - 第2 指定相続分
  - 第3 特別受益者の相続分について
- 第4 寄与分について
- 第5 相続人以外の親族による寄与料制度の創設
- 第6 相続分取戻権について
- 第7 遺産分割について
- 第4章 相続財産
  - 第1 財産の当然承継・包括承継
  - 第2 相続財産の範囲
  - 第3 遺産共有
  - 第4 遺産分割と共有
  - 第5 共同相続財産の管理
- 第5章 相続の放棄と承認
  - 第1 相続の自由
  - 第2 相続の放棄
  - 第3 相続の承認
- 第6章 財産分離
  - 第1 財産分離の意義と機能
  - 第2 財産分離の手続
  - 第3 財産分離の効果
- 第7章 相続人の不存在
  - 第1 相続人不存在と遺産の処理
- 第8章 遺言制度について
  - 第1 遺言制度
  - 第2 遺留分制度

(著者略歴) 山川一陽(やまかわかずひろ) 東京地検検事、広島地検検事、法務省民事局付検事などを経て、現在、日本大学名誉教授(法学博士)、弁護士。

日本加除出版